



太成学院大学 www.tgu.ac.jp

〒587-8555 大阪府堺市美原区平尾 電話 072-362-3731/FAX 072-362-0598 監修:学校法人 天満学園 学園企画室

放送大学で集中講義

関戸恒昭総合経営学部教授



本学総合経営学部の関戸恒昭教授が、マクロ経済分野の研究業績が認められ、放送大学の講師として、6月2日(土)、3日(日)に、同大学の大阪習志センター(大阪教育大学天王寺キャンパス内)の教壇に立ち、「日本経済の現状と課題」の科目で集中講義することになった。

放送大学は、テレビ、ラジオなどを通じて、

希望と緊張感みなぎる445人

第10回 平成19年度 入学宣誓式



新入学生代表の宣誓

第10回平成19年度入学宣誓式が、4月3日(火)午前10時から、足立記念館ホールでおこなわれた。今年度新設された看護学部看護学科の池内愛香さんが、新入学生445人を代表して、建学の精神である「教育は徳なり」の理念に基づいて、学生の本分を尽くすことを力強く誓った。

新入学生は、宣誓式を終え、新たなキャンパスライフの第一歩を踏み出した。

高等教育を幅広い層に提供する準国立の通信大学だが、今回同教授が招かれたのは、57ある分校の面接授業と呼ばれるスクーリングだ。同教授は、35年間、大手銀行に勤務。その間、フィールドワークを駆使して、関西経済連合会のシンクタンクである関西産業活性化センターで、「関西活性化白書」を創刊するなど、地域経済を論究するとともに、東南アジアと日本経済の関係などの多彩な研究で、国際的視野に立った業績が評価されたもの。

「激動の90年代「失われた15年」まさかの大手銀行破綻」景気・経済の回復基調課題「新しい動き」をテーマに、1時間135分、5時間のマラソン講義になるが、「受講生との強い関心を持統できるような授業をしたい」と、同教授は準備を進めている。

基調講演

眞柄泰利氏 新入学生にエール



入学宣誓式に続いて「足立記念館」記念ホールで、マイクロソフト株式会社執行役員専務・眞柄泰利氏が「夢を実現しな」のテーマでの1時間にわたる講演で、新入学生にエールを送った。この様子は本館と東館の2教室の大型スクリーンに同時放映され、新入学生の保護者約300人が、氏の熱情あふれる講演に身を乗り出して聴き入る姿が目についた。

本題に入る前に、新入学生「の生れ年(昭和63年)を確認したうえで、本人との30歳の年齢の開きを再認識させながら、現代におけるコミュニケーション能力の重要性と、これを身につけている

コミュニケーション能力は、夢を実現の基本能力

人の共通性を指摘。コミュニケーション能力については、終盤で再び触れることになる。

医療情報技師の活躍の場は拡大の一途

徳島大学医学部から山本勇二郎氏、NECシステク(株)から執行役員・藤山明生氏を招いて、経営情報学科教授・山田晃経学部長が座長となり、座談会を開催。4月3日(火)午後4時から足立記念館会議室で約2時間にわたり熱い議論が行われた。

山田 ます今年度から総合経営学部医療情報技師コースを設置することになったので、本コースについて意見・情報交換したい。

藤山 人口の高齢化、少子化で医療のニーズは飛躍的に高まっており、これにこたえるべく医療技術も日進月歩している。病院側の一層の情報化が求められているが、非常に遅れている。このギャップを埋めるのが医療情報システムだ。

足立学長 実務に役立つ人材育成は本学の建学精神そのものである。今後医療情報に特力を注ぎたい。

足立副学長 新設した看護学部では、臨床に強い人材を育成したい。

山田 大学卒に必要な教養人を育成しながら、専門資格を取得させるというダブルスクールの考えでこのコースを運営していきたい。

足立学長補佐 あらゆる情報がユビキタス化される社会の中で、医療臨床における情報化の推進力となる人材として国家資格を持つ医療情報技師を、看護学部や人間学部を持つ四年制大学として間的融合できる教育環境である本学で取り上げることは非常に独自性があり、有意義なことだ。



山本 医療情報技師の立場、権限を有する専任者は医療現場では皆無に近い現状がある。藤山 今後発展していく医療情報システムや地域医療を担う医療情報技師には、①医療関係者とコミュニケーションを取るために必要な医学・医療に関する知識 ②一般情報処理に関する知識技能 ③病院情報システムや電子カルテ、地域医療等医療情報システムに関する知識技能が求められる。本コースでは、これをマスターすれば絶対受かるという教科内容に従って習得していく、特に難しいとされている③については徹底して医療情報技師国家資格を取得させたい。

学科ガイダンス (総合経営学部)



クラスミーティングで交流(看護学部)



フレッシュユマン・キャンパス

人間学部と総合経営学部の新入生320人は、4月5日(木)から1泊2日で「紀州南部ロイヤルホテル」看護学部82人は4月18日(水)から2泊3日、「ラフォーレ琵琶湖」でのフレッシュユマン・キャンパスに臨んだ。人間学部、総合経営学部は、学部別に分かれて研修が行われた。夕食は、一堂に集まり

交歓、夜は、クラスミーティングなどで、コミュニケーションを図った。翌日は、ストレッチ体操等でスタートし、グループディスカッションで全研修を終えた。

看護学部のキャンパスは、グループディスカッションを中心に「有意義な学生生活を送るためにをテーマとした研修、エアロビクス等のスポーツ活動を通して、学生たちは新たなキャンパスライフについて学び、厳しきながらもやりがいのある医療人になるためのスタートラインに立ったことを実感したようだ。

本題の「夢」については、ビル・ゲイツ氏(マイクロソフト米国内本社長)を話の中心に据えて、彼の性格や特徴、メディアを通さない素顔の実像など、氏が捉えた印象を語って聴講者をひきつけた。

終盤から最終章では、最初のコミュニケーション能力に触れ、体育会系のクラブの主務(マネジャー)を高く評価するともに、自社の組織的健康度を維持する仕組み・制度を紹介した。電子メールの普及によりコミュニケーションのスピードは格段に進化したのが、対人コミュニケーションの本質である対面コミュニケーションの重要性が従来に増していることも認識すべき課題である。これからの新入学生は専攻学位プログラムの何かを身につけて社会に出ていきたきたいと結び、会場の割れんばかりの拍手の中で講演を終えた。

山本 医療に興味を持ってもらうために、あらゆる手段を考えたり、全員の国家試験合格を目指すべく過去の出題傾向を織り込んだ演習も採り入れるべきだ。

藤山 病院はシステム化や地域医療の拡充が進んでいくので、医療情報技師などの国家試験を取得した人は医療機関からは引く手あまただ。それにシステムを開発するメーカー・ソフト会社も待ち望んでいる。加えて製薬会社や保健所等、活躍の場は拡大の一途だ。

2007 (平成19) 年度 入学試験倍率

選考種別	人間学部				総合経営学部				看護学科			
	志願者数	合格者数	入学者数	倍率(倍)志/入	志願者数	合格者数	入学者数	倍率(倍)志/入	志願者数	合格者数	入学者数	倍率(倍)志/入
推薦入試	240	227	198	1.2	74	68	61	1.2	112	88	74	1.5
一般入試	91	39	27	3.4	24	13	3	8.0	73	38	12	6.1
センター利用入試	16	7	1	16.0	3	2	—	—	—	—	—	—
アグリメント入学方式	56	48	40	1.4	14	12	10	1.4	—	—	—	—
外国人留学生入試	—	—	—	—	1	1	1	1.0	—	—	—	—
合計	403	321	266	1.5	116	96	75	1.5	185	126	86	2.2

(人間学部266の中には3年次編入18人は含まない)

教育研究活動

「観光開発」をテーマに
神戸大学経済研究所・ツーリズム研究会で報告



総合経営学部
寺本光雄教授

平成18年11月25日(土)に、神戸大学経済研究所のツーリズム研究会で「観光開発に関する考察」をテーマに報告した。

「21世紀は「観光の世紀」といわれるように、観光は、人々のゆとりと潤いのある生活に欠くことのない重要な役割を担っている」とも、観光産業は大きな経済波及効果を生んでいる。観光開発には、観光需要の喚起と魅力ある観光地の形成が重要である。そ

して、旅行業や旅館業・ホテルなど観光産業の育成と交通機関などの利便向上を図ることが重要である」というのが報告の骨子。

平成18年9月15日(金)・16日(土)には、吹田市の大阪大学コンベンションセンターで開かれた日本計画行政学会第29回全国大会の運営委員として参加した。

また、「テクノステージ和泉」が、南大阪地域の産業クラスターの中核として成長していくための重要な課題について検討する資源循環型産業団地形成等研究会の座長を務めた。同研究会は平成18年8月から19年3月までに、5回開催された。

人権問題について

大阪、滋賀で講演

平成19年2月23日(金)、大阪市中央区民ホールにおいて、大阪市企業人権推進協議会中東支部研修会で「セクハラを考える」のテーマで講演した。

中央区内の企業人権啓発推進担当 人事担当 当者約5000人が受講。例年の2000人程度に比べ、今回のテーマに対する関心の高さがうかがえる。モラルハラスメントとしてのセクシャルハラスメント、パワーハラスメント、アカデミックハラスメントについて、具体的な例をあげながら、ハラスメントに対する職場の対応など90分講演した。

また、翌24日(土)は、滋賀県西浅井町町中央公民館で「共に生きる 自分を知る 他人を知る」のテーマで、企業関係の受講者約1500人に人権問題について熱弁を振った。



講演する内之宮則子人間学部准教授

専修学校フォーラム2007で講演・討論



総合経営学部
釣島平三郎教授

平成19年3月1日(木)、2日(金)の2日間、東京・中野サンプラザで「専門学校職業教育」をテーマに全国専門学校情報教育協会主催のフォーラムが開催された。専門学校の経営者や管理職者が300人近く集まり真剣に議論が行われた。

1. 「日本の学力回復は可能か」の

演題での基調講演

日本はバブル崩壊後、政治や経済に精彩がなく、かつてなかったような社会問題に直面

平成18年度学位記授与式



118人が巣立った学位記授与式

平成18年度学位記授与式が、3月15日(木)午前10時30分から、足立記念館3階・記念ホールで行われた。総合経営学部と第1期生となる人間学部の卒業生118人が足立理事長・学長から、学位記を授与された。

また、本学選考基準に基づく表彰があり、6人が受賞した。学業、人物ともに優秀な者に贈られる学長賞に総合経営学部日高樹樹さん、人間学部至田有佳里さん、社会活動スポーツ活動で顕著な成績を取った者に与えられる足立賞に人間学部中村智太郎さん、宮井佑華さん、本学の教育目標において研鑽努力した者に贈られる特別賞に人間学部田中和美

感動の中、新たな世界へ

さん、岡村真吾さんが選ばれ、それぞれ表彰された。

続いて、足立理事長・学長が「学位を得たということは、社会人となって公共のために尽くすということが、新しい光であり使命であることを忘れないでほしい」と、はなむけの言葉を贈った。

来賓祝辞のあと、在学生代表の人間学部3年次生の鈴木妙帆さんが送辞を、卒業生を代表して小野島亮さんが答辞を述べ、卒業生は、4年間のさまざまな思い出を胸に、それぞれが感動に浸っていた。



学位記授与式で
足立賞を受賞する宮井佑華さん

卒業記念パーティー



和やかなムードで行われた卒業記念パーティー

式典後の午後6時より、卒業生の8委員が企画した卒業記念パーティーが、天王寺都ホテル(大阪市)で開かれた。卒業生と教職員が「課外授業」これにて閉講の最後の「課外授業」やゲームなどで盛り上がった。卒業生は、4年間の謝恩の意を表し、意義深いひとときを共にした。

人間学部1期生も多彩な成果

『卒業研究発表会』

平成18年度の卒業研究発表会が、2月に人間学部、総合経営学部のゼミ主催で開催された。この発表会は、学生に対する研究に対する学修意欲、情報機器などを活用したプレゼンテーション能力の向上などを狙い

として施行されたもので、1期生が卒業する人間学部の学生にとっては、初めての試み。2月16日(金)に人間学部の尾上、古谷、



人間学部の卒業研究発表会

高井、鈴木らの4ゼミ合同で開いた発表会では、13人のゼミ生が発表。テーマは「テニスにおけるスポーツ傷害についての研究」一般家庭の浴室使用後の湿度管理法の検討「走行時の明るさが速度感覚に及ぼす影響」情動を表す文字の印象は背景色によって変わるか「発達障がいの子どもの持つ親の心情」発達障がいへの理解「高齢社会における介護システムと介護トラブル」など、多彩だ。

2月7日(水)には、総合経営学部の釣島、関戸ゼミが合同発表会を開き、「萌え産業」産業廃棄物産業「父の会社」人口減少における日本の経済効果「団塊世代と2007年問題の影響」オンラインゲーム市場をテーマに発表した。

人間学部、総合経営学部の他ゼミでも発表会が開かれ、卒業を控えた学生の4年間の研究成果が披露された。

地域貢献事業

科学体験教室が3年目に

美原区の小学生150人が参加

地域に開かれた大学として、美原区の小学生を対象に続けている科学体験教室が好評のうちに3年目を迎えた。3月1日(木)、2日(金)、6日(火)、9日(金)の4日間、堺市立美原西小学校の1年生から5年生の児童約150人が、走査電子顕微鏡による観察・環境観測研究室の見学をし、自然科学の素晴らしさに目を輝かす。

■尾上研究室

人間学部の尾上孝利教授が走査電子顕微鏡で、塩とホウ酸の結晶、セミとニンジン、アリとダイコンなどを観察させ、顕微鏡で見る世界に子供たちを案内した。



1年生は、セミの眼が複数であることや、脚にうろこがあることに驚いていた。また、アリの脚の関節と自分のひじ関節を、3年生の児童ははげしげと見比べていた。

■竹原・村田研究室

ダイコンの葉の気孔や水の通り道など、普段、肉眼では見えない世界は、子供たちにとって、驚愕の連続であった。



環境観測研究室の見学は、人間学部の竹原明伸教授、総合経営学部の村田史之教授が担当、ひまわり6号受信アンテナ、気象センサ1などを含めて、説明した。

■鈴木研究室

人間学部の鈴木公洋講師は、「鈴木公洋先生のだまし絵の部屋で、錯視図形のデモンストラーションを行った。



観察者が動く顔や建物がかく見え、ふりかえるドラゴンや回転させるといういろいろな模様が見える。走っている馬、バラバラめくっていくと動物が見える、バラバラマンガ、鏡映像が立体的に見える「浮」はては、不思議で楽しいだまし絵の世界を体験した。

今回の科学体験教室には、心理学部の菅沼章、西口尚志、鈴木妙帆、岡本裕也、中沢摩有子、今岡俊策、浦英輝、中田昇吾、熊田菜美の学生の皆さんが協力した。

教務部

『ピアヘルパー』認定試験に4人が合格

平成18年12月9日(土)に本学で行われた平成18年度『ピアヘルパー』資格認定試験に、本学で初めて挑戦した人間学部心理学科の4人が合格した。

『ピアヘルパー』認定は、カンニングや関与する心理学の理論方法について学習し、教育・福祉・保育などの場面で人とかがわるために必要な基本的な力を身につけた者であることを証明するもの。『仲間を助ける人』という意味を持つ『ピアヘルパー』は、人間

大橋 貴明さん



鈴木 妙帆さん



溝端 しのぶさん



『健康運動実践指導者』の称号を取得 人間学部の上原さん、坂本さん

『健康運動実践指導者』認定試験に、本学で初めて挑戦していた人間学部人間文化学科3年次生の上原清華さん、坂本佳子さんは、先に行われた実技試験と2月11日(日)に行われた筆記試験を、ともに合格し、『健康運動実践指導者』の称号を取得した。

この称号は、医学的基礎知識、運動生理学なら誰でも出会う問題の相談相手になる人のことで、教育、ボランティア、福祉の分野などで資格が生かせる。

今回の合格者は、人間学部心理学科3年次生の大橋貴明さん、鈴木妙帆さん、水井雄介さん、溝端しのぶさんの4人。



本年度も認定校に レクリエーションインストラクター

建築が進む看護学部実験実習棟



完成が待たれる看護学部実験実習棟



現在の臨時仮設校舎

バントワリリング

山田さんが世界大会へ

人間学部3年次生の山田康子さんが、8月中旬にカナダで開かれるバントワリリングのインターナショナルカップに出場することが決まった。

3月25日(日)に名古屋市で開催された全日本バントワリリング選手権大会の個人部門で7位に入った。同大会は、インターナショナルカップの予選を兼ねており、今回の好成績で、日本代表の団体2チーム(1チーム8人)のうち1チームのメンバーとして選ばれた。

3歳から始めたバントワリリング。山田さんの目標は世界で活躍する選手になることだが、インターナショナルカップ出場まで、早くも夢実現の端緒にのびた。



ジャイアントスラローム

冬季国体に有山さん出場

人間学部人間文化学科4年次生のスキー部有山諒さんは、2月10日(土)から13日(火)

スキー実習でスキー以上のことを学ぶ

2月5日(月)・9日(金)、長野県北安曇郡白馬村八方でスポーツ特別実技「スキー実習」が行われ、32人が参加、全員がスキー検定3級に合格する実りある実習になった。

今回のスキー実習は、将来スポーツの指導者を目指す学生にとって、有意義な内容となるよう、本来の目的はもちろんのこと、それに加え、①体育人として、キビキビした態度を身につけ、②野外実習の特性である「その環境の中で楽しむ工夫をする」ことを目的として予定通り開講式を本学でもつことができた。

人間学部2年次生の北川力也さんは「スキーを滑りに行くという気持ちで参加したが、日常生活、目上の人に対する態度、あいさつの大切さなど、社会に出て役立つ実習だった」と振り返る。開講式は足立理事長・学長も出席した。

実習責任者の総合経営学部の雑賀亮一講師は「今回のスキー実習では、スキーの技術以上に、学生の上には、学生に対する生活面での真摯な取り組みを、本心に強く感じた。この学生の姿勢と引率し、下さった



体育人としての態度や、将来を真剣に考える姿勢を培った。スキー実習 山先生、池



参加した32人全員がスキー検定3級に合格したスキー実習



の4日間、秋田県で開かれた第61回国民体育大会冬季大会スキー競技会に、奈良県選手団員として、成年男子の部A、ジャイアントスラローム競技に出場した。

さきに行われた奈良県体育大会で優勝、同県選手団員として派遣されたもの。国体で健闘した有山さんは「これからも出場し続けて、県チームを引っ張っていけるようになりたい」と抱負を語った。

太成学院大学紀要・第9巻(通号28号)を発行

本号から文献検索用データベース『Cinii』に収録
—卒業論文・レポートなどの資料収集に便利—



本学の大学紀要・第9巻通号26号が3月に発行された。前号より90%増え260頁に、掲載件数は4件増えている。質・量ともに一層充実した今号から文献検索用データベース『Cinii』に収録される予定だ。これにより学内リンク集から、本学紀要の論文はもとより、各大学、研究所の論文の検索が可能となる。

キャンプ・インストラクターの資格取得教科に活用



野外活動場に設置されたアウトドアテーブル付きチェアセット

豊かな緑に囲まれた野外活動場にテーブルセットが新設

暖冬で春を思わず柔らかな陽が差し、1月下旬、緑豊かな野外活動場に5台のアウトドアテーブル付きチェアセットが設置された。木製で周囲の緑にピッタリはまっている。この設備は大学教育高度化推進特別経費のなかの「教育・学修方法等の改善・学修方法等の改善・学修方法等の改善・学修方法等の改善」の対象事業として設置されたもの。キャン

低公害の超低PM排出シャトルバス

大型の2台増車、4月から運行



女子学生寮にJ:COM導入

部屋でインターネットが可能に

4月から、女子学生寮「スカイビル喜志」に、ケーブルテレビの「J:COM」が導入され、契約すれば、インターネットはもちろん、地上デジタル放送、BS放送、ケーブルテレビ視聴が可能になった。インターネットは、月々2520円より、フルセキユリテキー付きで安心して利用できる。今や情報収集、レポート提出などに欠かせないインターネットだが、「ようやく待ち望んだインターネットが部屋でできるのうれしい」と喜びの声があがっている。

あしなが育英会より寄付のお礼状が届く

平成18年度の大学祭(学友会主催)の収益金の一部8万5699円を「あしなが育英会」に寄付したことへの礼状が届いた。



併設校トピックス

また、4月10日(火)には、入学式があり、高校生活への期待と不安を抱いて、新入生345人が、春爛漫のあらたな門をくぐった。

太成学院大学高等学校 307人の門出

太成学院大学高等学校(校長和田昭夫)で1月31日(水)、卒業式が行われ、3年間の思い出と新たな希望を胸に307人が巣立った。



卒業式を迎えた307人



新たに345人が入学

ジュニア室内大阪大会 走り高跳びでV

高校3年 三村有希さん

太成学院大学高等学校3年の三村有希さんは2月11日(祝)、1m80を跳び、日本ジュニア室内・大阪大会の走り高跳びを制した。三村さんは日本の走り高跳び界のホープとして注目されている。人が、中学生生活の充実感と満足感、そして高校生活での飛躍を胸に果立っていた。

太成学院大学中学校 31人が卒業

早春の3月9日(金)に太成学院中学校 校長山田忠夫の卒業証書授与式が厳粛な雰囲気の中で挙行された。第5期生31



31人が巣立った卒業証書授与式

大阪太成学院大学 歯科衛生学院専門学校 国家試験に96人合格

大阪太成学院大学 歯科衛生学院専門学校(学院長尾立裕亮)の卒業式と卒業記念パーティーが3月9日(金)にあった。



卒業式を迎えた学生たち

卒業記念パーティー

で返事し、一人一人が舞台上に上がり、園長先生から卒園証書を受け取った。3年間の幼稚園生活を終え、立派に成長して果立っていた。



3月4日(日)の歯科衛生士の国家試験を98人が受験、その後の卒業式だったこともあり、感動に涙する学生が多かった。国家試験の合格発表は3月26日であり、96人が合格した。また、4月4日(水)には入学式があり、88人の新入生を迎えた。



満開の桜のもとで行われた入学式

また、桜爛漫の4月10日(火)には第8期生49人の入学式が行われた。新入生一人一人がそれぞれの夢・希望・目標を誓い、本校での中学校生活をスタートさせた。



感謝の花束を贈呈する



入園式で新たなスタートを切る園児たち

4月6日(金)には、67人の新入園児を迎え、園庭で第53回入園式が行われた。初めて、保護者の手を離れての幼稚園生活がスタート。園児たちは、新しい、少し大きめの制服姿で不安と期待に胸を膨らませていた。